


広島県の農林水産業



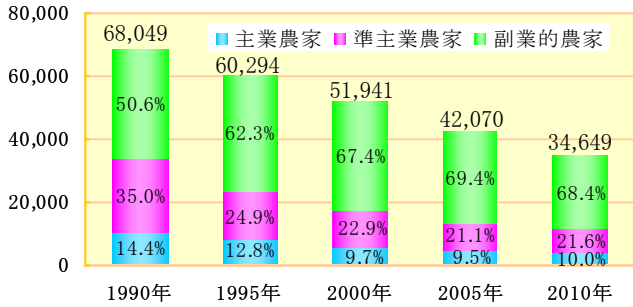
平成25(2013)年10月

 広島県

農 業

1 農 家

主副業別販売農家数の推移 (単位: 戸)



本県の販売農家は、副業的農家が約7割を占めています。

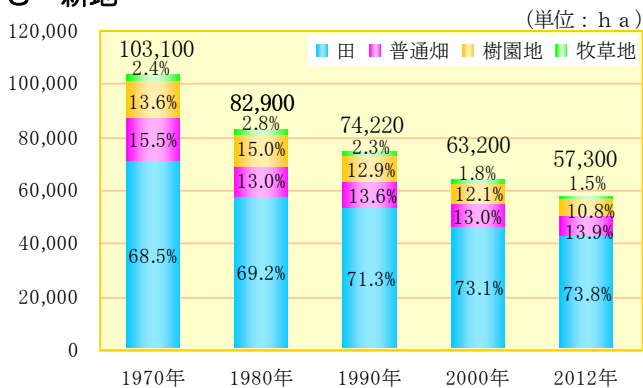
2 農業従事者

農業就業人口(販売農家)の動き (単位: 人, %)

区 分	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
農業就業人口	108,771	96,764	84,040	78,000	63,028	46,483
基幹的農業従事者	62,070	51,948	46,710	36,780	34,038	34,521
うち65歳以上	25,000	24,918	24,160	25,479	24,905	26,389
〃 割合	40.3	48.0	51.7	69.3	73.2	76.4
うち女性	34,348	26,794	22,720	18,242	15,719	15,414
〃 割合	55.3	51.6	48.6	49.6	46.2	44.7

基幹的農業従事者(販売農家)の65歳以上比率は約76%に達しており、高齢化が進んでいます。

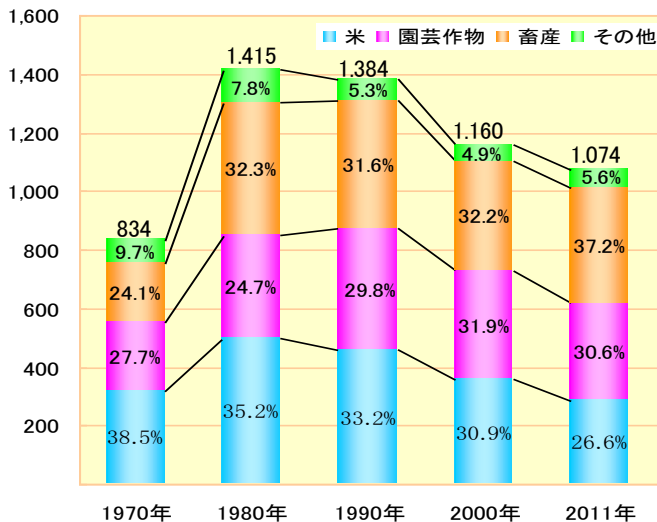
3 耕地



本県の耕地は、地形的に急斜面水田が多く、農家1戸当たりの耕地面積は86aと低くなっています。

4 農業生産

農業産出額の推移 (単位: 億円)



2011年の農業産出額は1,074億円で、そのうち、米・園芸作物の耕種が約5割を占めています。

広島県の農家の姿

() は全国平均

農家率(2010)
(総農家数÷総世帯数)



5.6%
(4.9%)

農業専従者の平均年齢
(2010)



69.1才
(63.7才)

耕地面積(2012)
(総農家1戸当たり)



86a
(180a: 都府県平均)

農業所得(2011)



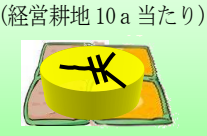
349千円
(1,196千円)

農業所得率(2011)



16.2%
(25.5%)

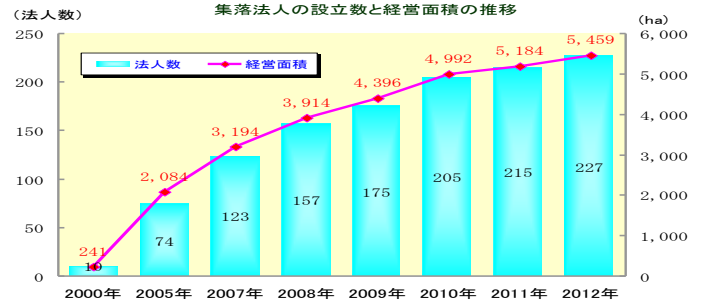
生産性(2011)
(経営耕地10a当たり)



38千円
(60千円)

5 担い手

集落法人数の推移



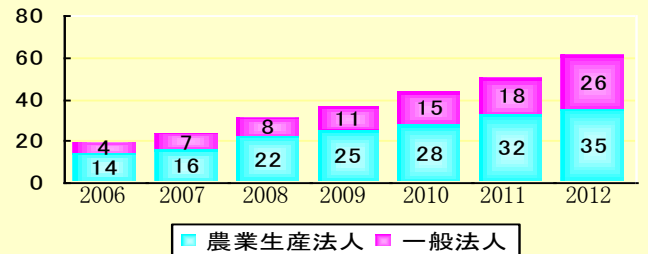
個人経営から、集落内の農地を集積した、法人経営が増加してきており、2012年度(3月末現在)の集落法人数は227法人となっています。また、経営発展への取組みを進めており、7法人が8千万円以上を売り上げています。

集落法人の経営状況(H24)調査協力199法人の平均値

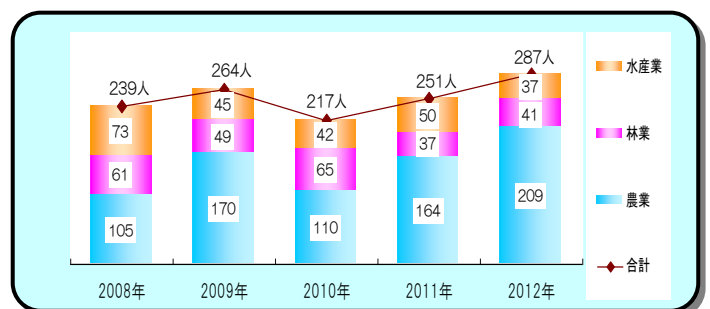
平均経営面積	25.9ha	地域還元額	17,790千円
平均構成員	32人	所得率	52.9%
土地生産性	110千円/10a	平均売上高	26,150千円

農業参入企業の推移

法人形態別参入数



新規就業者数(農・林・水)



農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。

畜産

産出額 400億円 (全国18位) (2011年)
生産量 生乳 60,998t 牛肉 9,533t
(2012年) 豚肉 4,688t 鶏肉 12,476t



鶏卵 (2012年)
生産量 124,738t
全国4位

広島県における飼養戸数及び飼養頭羽数(2013年)

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	191	9,830	51.5
肉用牛	733	26,600	36.3
豚	32	85,300	2,665.6
採卵鶏	59	8,771,000	148,661
ブロイラー	11	629,000	57,182

※農林水産省「畜産統計」調

米

産出額 286億円 (全国27位) (2011年)
生産量 140,100t (2012年)

品目構成 (農産物検査ベース 2012年) (%)

順位	品種名	割合(全国)	1等比率(全国)
1	コシヒカリ	47.2(31.9)	87.5(76.6)
2	あきろまん	11.3(0.1)	91.7(91.7)
3	ヒノヒカリ	10.3(4.5)	77.7(39.2)
4	中生新千本	5.8(0.1)	87.9(87.6)
5	ひとめぼれ	5.8(10.0)	83.3(87.9)

※県内検査数量61,489t(2013年3月31日現在)

多様な気象条件から多くの品種が作付けされています。(奨励品種 15品種)

酒造好適米(酒米)の生産は全国9位(農産物検査ベース)で特上以上の比率が全国1位と、品質の良い酒米が生産されています。

果樹

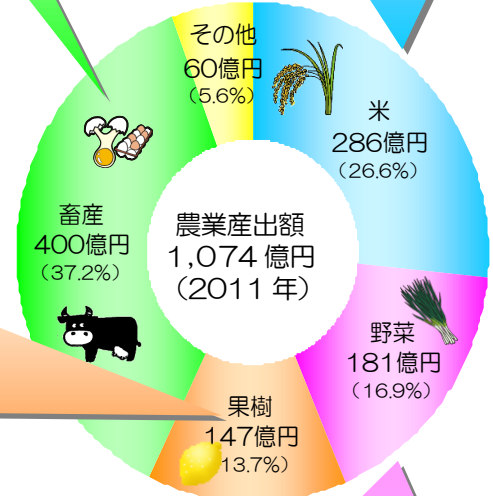
産出額 147億円 (全国16位) (2011年)
生産量 7,774t (2010年) (県重点品目の計)



(2011年) レモン 生産量 3,402t **全国1位**
みかん 生産量 35,000t **全国7位**
ネーブルオレンジ 生産量 2,109t **全国1位**

レモン・ネーブルオレンジは2010年数値

【生産量が多い果実】: みかん (35,000t) ぶどう (3,400t) なし (2,480t)
【生産額が多い果実】: みかん (53億円) ぶどう (25億円) なし (7億円)



その他

産出額 60億円 (2011年)



花き

産出額 29億円 (全国35位) (2011年)
出荷量 切り花類 41,200千本
花壇用苗もの類 13,200千鉢

【出荷量が多い花き】: きく (19,600千本) パンジー (4,980千本) ばら (3,870千本)
「ばら」は2010年数値

野菜

産出額 181億円 (全国33位) (2011年)
生産量 29,139t (2011年) (県重点品目の計)



わけぎ (2008年)
生産量 1,428t
全国1位

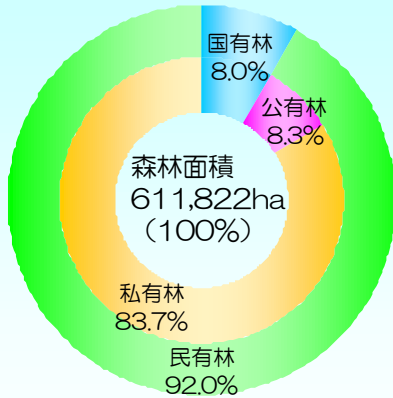
秋植ばれいしょ (2010年)
生産量 2,170t
全国3位

【生産量が多い野菜】: だいこん (13,800t) トマト (8,480t) キャベツ (7,860t)
(2011年)

【生産額が多い野菜】: トマト (28億円) ねぎ (25億円) ほうれんそう (16億円)
(2011年)

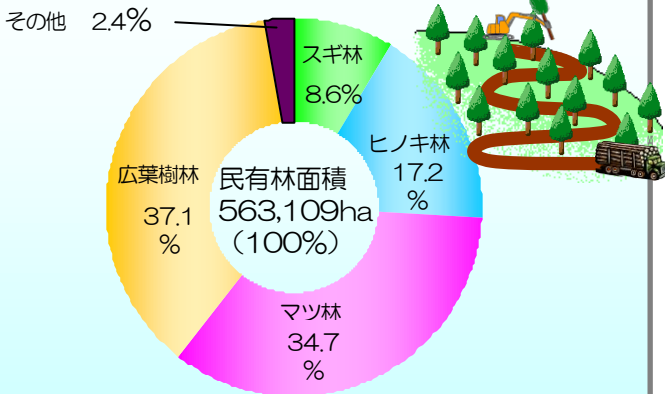
1 森林資源

所有形態別構成比(2013年)



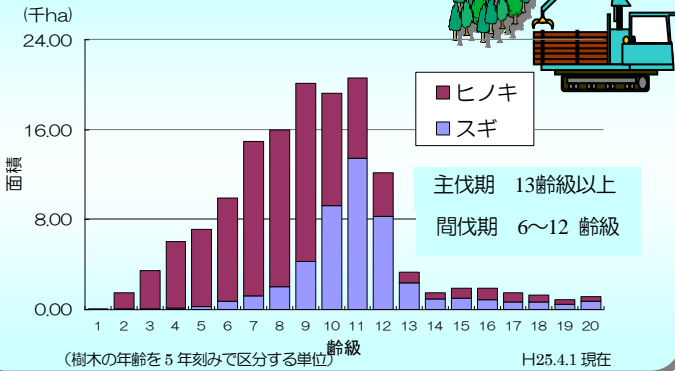
本県の森林面積は611,822haで、県土面積の72%にあたります。

民有林の樹種別面積(2013年)

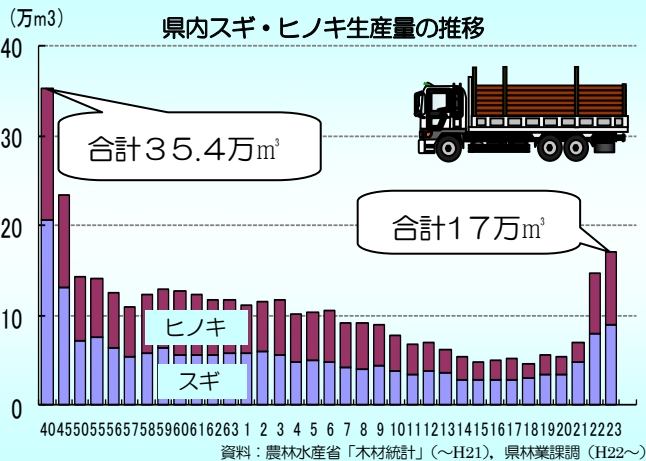


本県の民有林は、県北部地域を中心に、スギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心に天然マツ林(全国第1位)が広く分布しています。

2 人工林の齢級構成



3 木材生産の状況



4 県民参加の森づくり



小学生等による植樹活動

住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行なわれています。

ひろしまの森づくり事業 (2007~2012)
人工林の間伐 6,389ha
ボランティア活動支援 86,490人

5 森林の保全



本県の山地災害危険地区は、24,520 地区であり、民有林の36%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。



間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれてしまいます。

県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

広島県の森林のめざす姿 (森林づくり 50 年構想)

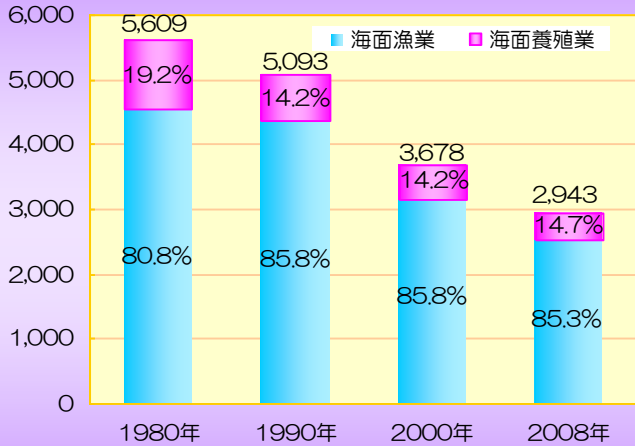


水産業

1 漁業経営体

漁業経営体数の推移

(単位:経営体)

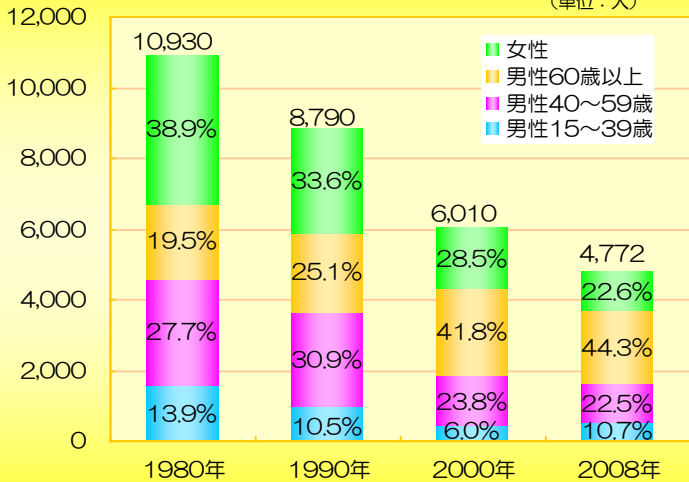


本県の漁業経営体数は年々減少しています。組織別に見ると、2008年では、個人97%、団体3%となっています。

2 漁業従事者

漁業就業者の推移

(単位:人)

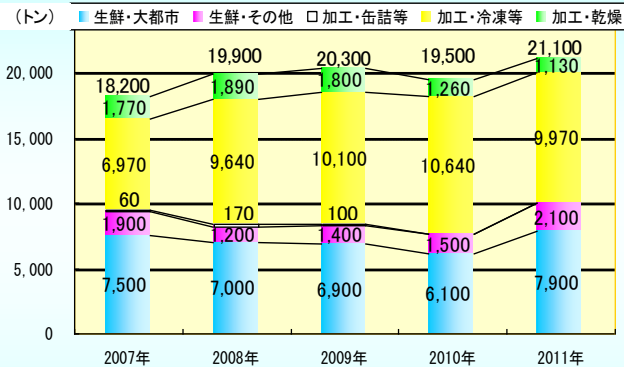


本県の漁業就業者は、年々減少傾向にあります。

4 かきの生産量

広島かき生産・出荷量の推移

(単位: t)



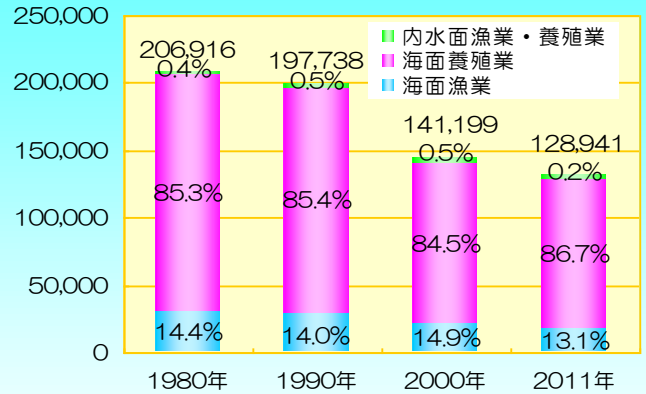
広島かき生産実績

2011年漁期の総生産量は21,100tで(生鮮向け10,000t 加工向け11,100t)全国1位です。全国シェアの5割以上を占め、品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。

3 漁業生産

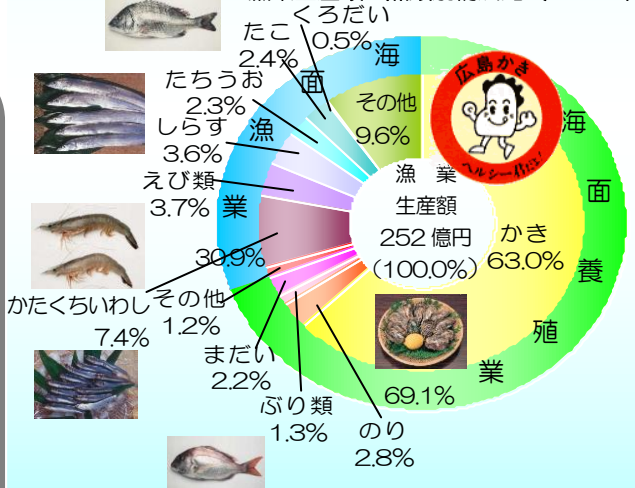
漁業種類別生産量の推移

(単位: t)



本県の漁業生産量は82%をかきが占めています。海面漁業では、小型漁船による一本釣り、刺し網、底びき網、船びき網漁業が行われています。

漁業生産額の魚類別構成比(2011年)



かき小町(夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきです。)

5 栽培漁業の推進



オニコセ稚魚

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
米	2012	26,000	140,100	286(2011年)	
麦類	〃	245	454	—	
大豆	〃	701	1,070	2(2011年)	
野	トマト	2011	171	8,480	28
	ねぎ	〃	343	6,260	25
	ほうれんそう	〃	410	4,310	16
菜	アスパラガス	〃	142	801	7
	キャベツ	〃	319	7,860	5
	わけぎ	2008	86	1,428	—
	きく	2011	81	19,600 [※]	7

品目	調査時	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
果	レモン	2010	197	3,402	
	いちじく	〃	55	697	
	ぶどう	〃	203	3,400	25
	はるか	〃	35	275	
	いしじ	〃	247	—	
畜産	鶏卵	2012	…	124,738	
	生乳	〃	…	60,998	
	牛肉	〃	…	9,533	
	豚肉	〃	…	4,688	
	鶏肉	〃	…	12,476	
	飼料用稲	〃	294	—	
	水田放牧	〃	148	—	

多面的な役割をもつ農林水産業・農山漁村

本県における農業・農村の公益的機能の評価額

(億円/年)

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割。
合計	1,502	



水源かん養とともにやすらぎをもたらす棚田の風景



豊かな水を育む森林

本県における森林の公益的機能の評価額

(億円/年)

水源かん養機能	5,300	森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水、濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の下層植生や落葉枝が地表の侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根系を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養機能	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部（平成14年）による推計値

(注) 機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能にすぎないこと等から、合計額は参考とします。

有機性廃棄物を分解する

都市から出る生ゴミ(有機性廃棄物)を土の中のバクテリアなど微生物が分解し、再び農作物が養分として吸収できる形にかえます。

心身をリフレッシュさせる

緑豊かな自然に触れると安らぎ、心身がいやされるため、多くの人が森林・農村地域を訪れています。

土砂崩れ・土の流出を防ぐ

森林は大地にしっかり根を張り、土砂崩れを防ぎます。また傾斜地に切り開かれた田畑は、雨水などの流れを緩めて土砂の流出や侵食を抑えます。

気候を緩和する

水田は、水分の蒸発や、作物の光合成により、周辺地域の気温を下げます。

地下水などを蓄える

森林や田畑からは、絶えずゆっくりと水が地下へ染み込み、これが地下水となり蓄えられ川に流れ込んで生活用水などに使われています。

洪水を防ぐ

森林や田畑は雨が降った時、一時的に水をためておくことができます。大雨時でもためた雨水をゆっくり下流に流すことで、川の氾濫を防ぎ、下流域の暮らしを守ります。

地球環境を守る

森林は温暖化の原因である二酸化炭素を吸収し、化石燃料の消費を抑制します。

2020広島県農林水産業チャレンジプラン

広島県では、農山漁村地域の産業の核となる農林水産業を実現するため、10年後の目指すべき将来像を描き、前計画から引き続き「産業として自立できる農林水産業の確立」を最も重要な目標に据えるとともに、「農林水産物の販売力の強化」など新たな視点を加えて「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」を平成 22 年 12 月に策定しました。

本プランは、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の農林水産分野に関する計画として位置づけられ、本県農林水産行政の基本指針となるものです。

■ プランの期間：5 年間／平成 23 (2011) ～27 (2015) 年度

■ プランの基本姿勢

農林水産業者、団体・事業者、市町と連携し、次の 3 つの基本姿勢で本プランを推進します。

<地域起点>

地域の農林水産業を変えていこうと挑戦する意欲を重視

<選択と集中>

意欲ある担い手や地域の改革に向けた取組を、重点的、集中的に支援

<協働連携>

県民、農林水産業者、団体・事業者、市町、県等のそれぞれが担うべき役割を明確にし、適切な役割分担と相互の連携により施策を推進

■ 目標とめざす姿

農山漁村地域の産業の核となる農林水産業の確立

農 業

担い手 地域の核となる経営力の高い担い手の育成

産地 「作ったものを売る」から「売れるものを作る」生産体制の確立

しくみ 「産地と実需者」「産地と産地」が連携する仕組づくり

農業産出額目標 **1,200億円** (H32)

(億円)

生産から販売までが一体となった持続的な農業の確立

農業産出額の趨勢と担い手(経営力の高い経営体)の農業産出額の展望

林 業

生産 効率的な木材生産体制の構築

流通加工 県内経済に貢献できる流通・加工体制の実現

消費 県産材を最大限活用する木材利用の実現

森林資源 適正な森林資源管理

県産材の安定供給と利用拡大による持続的な林業の確立

素材生産量目標 **40万m³/年** (H32)

生産から販売までが一体となった持続的な水産業の確立

素材生産量目標 40万m³/年 (H32)

水産業

担い手 経営力の高い担い手の育成

水産資源の維持増大 水産資源の持続的な利用体制の構築

流通改善 販売戦略を踏まえた生産・流通・販売体制の実現

漁業生産額目標 **290億円** (H32)

生産から販売までが一体となった持続的な水産業の確立

販売力の強化

マーケティング マーケティング力強化の体制づくり

生産 ニーズに応える農林水産物の供給

流通 効率的で有利な流通の仕組づくり

ブランディング ブランディングによる有利に販売するための土壌づくり

生産から販売までが一体となった取組

県民の安全で安心できる食生活の実現

農林地の公益的機能の維持発揮

農山漁村地域の暮らしの安全安心の確保

チャレンジプランに掲げる主な目標値と達成状況

【農林水産業】

項目	計画策定時	平成24年実績	目標		
			平成27年	平成32年	
農業法人数	H21	175法人	227法人	300法人	345法人
経営力の高い集落法人数(ビジネス拡大型)	-	-	1法人	12法人	-
経営力の高い集落法人数(経営発展型)	-	-	6法人	40法人	-
経営力の高い集落法人数(経営発展移行型)	-	-	38法人	34法人	-
農業参入企業数	H21	37法人	61法人	95法人	170法人
野菜産出額(うち、担い手)	H20	177億円(56億円)	193億円	230億円(145億円)	300億円(260億円)
野菜重点品目産出額	-	-	62億円	89億円	-
果樹産出額(うち、担い手)	H20	128億円(26億円)	135億円	140億円(60億円)	160億円(100億円)
果樹重点品目産出額	-	-	50億円	62億円	-
花き産出額(うち、担い手)	H20	31億円(21億円)	32億円	32億円(25億円)	34億円(31億円)
畜産の産出額(うち、担い手)	H20	405億円	369億円	437億円	466億円(457億円)
県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量	H21	6.9万m ³ /年	20.2万m ³ /年	30万m ³ /年	40万m ³ /年
県産材(スギ・ヒノキ)素材生産量(うち低コスト林業団地分)	H21	3.2万m ³ /年	10.0万m ³ /年	15万m ³ /年	20万m ³ /年
低コスト林業団地面積	H21	48,630ha	52,776ha	55,000ha	60,000ha
漁業経営体数のうち担い手数	H20	457経営体	463経営体	530経営体	627経営体
漁業生産額	H19	270億円	272億円	285億円	290億円
かき養殖生産額	H19	150億円	155億円	170億円	-

ビジネス拡大型：(販売額12千万以上) 経営発展型：(販売額8千万以上) 経営発展移行型：(販売額4千万以上,H25から新規設定)

野菜重点品目：(トマト・ねぎ・ほうれんそう・アスパラガス・キャベツ・わけぎ)

果樹重点品目：(レモン・いちじく・ぶどう・はるか・いしじ)

※平成24年実績の(野菜・果樹・花き・畜産の産出額・漁業生産額)は見込み。

広島県農林水産業の主要指標

【農業】

区分	調査時	単位	実数	
			広島県	全国
総農家数	2010.2.1	戸	66,321	2,527,948
販売農家数	〃	〃	34,649	1,631,206
主業農家数	〃	〃	3,454	359,720
準主業農家数	〃	〃	7,483	388,883
副業の農家数	〃	〃	23,721	882,603
農業就業人口(販売農家)	2010.2.1	人	46,483	2,605,736
(うち女性比率)	〃	%	50.7	49.9
(うち65歳以上比率)	〃	%	75.7	61.6
基幹的農業従事者(販売農家)	〃	人	34,521	2,051,437
(うち女性比率)	〃	%	44.7	44.0
(うち65歳以上比率)	〃	%	76.4	61.1
耕地面積	2012.7.15	ha	57,300	4,549,000
(田)	〃	〃	42,300	2,469,000
(畑)	〃	〃	15,000	2,080,000
(1戸当たり平均耕地面積)	2012	〃	0.86	1.80
農作物作付延面積	2011年産	〃	46,000	4,193,000
耕地利用率	2011	%	79.7	91.9
耕作放棄地面積	2010.2.1	ha	11,325	395,981
生産農業所得	2011	億円	342	27,595
農家総所得	2011	千円	4,122	4,633
うち農業所得	〃	〃	349	1,196
収益性(農業所得)	〃	千円	349	1,196
家族農業労働一時間当たり	〃	円	283	720
農業固定資産千円当たり	〃	円	106	322
経営耕地面積10a当たり	〃	千円	30	51
認定農業者数	2012	人	1,387	237,522
うち一般法人	〃	〃	364	15,736
うち個別経営	〃	〃	1,023	221,786
生産額ベースの食料自給率	2012	%	37	67

【林業】

区分	調査時	単位	実数	
			広島県	全国
森林面積	2013	ha	611,822	24,461,631
国有林	〃	〃	48,713	7,081,493
民有林	〃	〃	563,109	17,380,138
うち保安林	2009	〃	200,859	5,088,669
森林蓄積総数	2009	千m ³	87,379	4,011,689
農林業経営体数	2010	経営体	38,197	1,726,600
うち林業経営体数	〃	〃	6,590	139,997
林業産出額	2011	千万円	815	41,659
(木材生産)	〃	〃	307	20,552
木材(素材)生産量	2012	千m ³	270	18,473
木材(素材)需要量	〃	〃	1,818	24,650
外材(素材)入荷量	〃	〃	1,558	6,177
まつたけ生産量	2011	t	2	26
林野火災被害面積	〃	ha	23	755
松くい虫被害量	2012	m ³	17,600	643,100
ナラ枯れ被害量	〃	m ³	1,400	83,300

【森林面積, 国有林, 民有林】全国の実数は2010年データ

【水産業】

区分	調査時	単位	実数	
			広島県	全国
漁業経営体数	2008.11.1	経営体	2,943	115,196
海面漁業(延数)	〃	〃	3,693	190,964
海面養殖業(延数)	〃	〃	538	28,847
漁業就業者数	〃	人	4,772	221,908
漁業生産量	2011	t	128,941	4,765,079
海面漁業	〃	〃	16,905	3,823,144
海面養殖業	〃	〃	111,844	868,720
かき養殖	〃	〃	107,383	165,910
内水面漁業	〃	〃	124	34,322
内水面養殖業	〃	〃	68	38,893
漁業生産額	2011	億円	252	13,289
海面漁業	〃	〃	78	9,392
海面養殖業	〃	〃	174	3,897
うちかき養殖	〃	〃	159	305